トルコ為替週報

2023 年 10 月 3 日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>　　（9月26日～10月2日）

USD/TRY:　　27.1731～27.6010

TRY/JPY:　　5.40～5.51（参照値）

過去1週間のトルコリラはじりじりと対ドルで続落。対円相場や対ユーロ相場ではほぼ横ばいとなっており、グローバルなドル高を反映した動きと言えよう。過去1週間は相場を動かす大きなカタリストがあったわけではないが、10月1日に発生した自爆テロ、S&Pによるトルコの格付け見通しの引き上げ、イラクからトルコに通じるパイプラインの再開、がトピックスとして挙げられる。

トルコ内務省の付近で週末の10月1日（日）に自爆テロが発生、同国の非合法武装組織クルド労働者党（PKK）が犯行声明を出している。トルコ政府は同日夜、イラク北部のPKKの拠点を空爆したと発表した。

自爆テロ発生の報道を受けて、週明けの10月2日にはリラは27.42から27.60まで瞬間的に約0.7%下落している。テロのトルコ金融市場への影響として真っ先に挙げられるのが観光業への影響である。トルコにとって観光業は2022年に対GDP比で4%もの黒字を生み出した「外貨獲得の柱」である。2016年には過激派組織イスラム国（ISIL）が関与したと見られるイスタンブールのアタテュルク国際空港への襲撃事件をはじめ、テロが相次いだことを受けて観光収入が大幅に落ち込んだ経緯がある。今回起きたテロ事件が今後も拡大しうるのかは分からないが、一定の注意を払う必要があるだろう。

大手格付会社S&Pは9月29日、政策転換を理由にトルコの格付け見通しを「※ネガティブ」から「※安定的」に引き上げた。格付けは「※B」で据え置いた（※同社の格付けは日本では無登録格付）。トルコの新たな経済チームが「金融と財政の安定を損なうことなく、過熱した経済を冷まし為替相場を安定させることを目的とした施策を実施している」と評価した。S&Pは3月にトルコの見通しをネガティブに引き下げ、低水準の政策金利などによる脆弱性を指摘していた。

トルコの格付けを巡っては、6月20日にMoody‘sもトルコが伝統的で予測可能な経済政策でシフトしたと証明されれば、同国の信用力にとって「明確にポジティブ」な動きだと指摘。「※B3」の格付けを引き上げる可能性を示唆している。

その他、10月2日にはイラクからトルコへ通じるパイプラインが約6ヶ月ぶりに稼働を再開する見通しになったとも報じられている。この報道もあり、原油相場は先月にかけての上昇が一巡し、1バレル＝90ドルを約1週間ぶりに割り込んでいる。エネルギーを輸入に依存するトルコにとっては前向きなニュースである。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想＊	実績	前回
9/29	08:00	貿易収支(USD)	8月	-8.90b	-8.66b	-12.30b
10/2	08:00	製造業PMI	9月		49.6	49

（*予想はブルームバーグ社予想中心値）

<向こう1週間の見通し>　　（10月3日～10月9日）

USD/TRY:　　23.00～28.50

TRY/JPY:　　5.10～6.30

今後1週間のトルコ・リラ相場は続落する公算が大きい。本来、リラ相場の最大のカタリストとなるはずのトルコ中央銀行による大幅利上げや、大手格付け会社によるトルコの信用力への前向きなコメントにも関わらず、市場の反応が鈍いことは、グローバルな投資家のみならずトルコ国内でも、現在の金融・財政政策の持続性に対する懐疑姿勢が根強いことを示していよう。また、トルコの経常収支は夏場の観光シーズンに改善した後、秋から冬にかけては観光収入の低迷を主因として悪化する傾向がある。こうした季節性も、当面のリラ相場にとって重石となる公算が大きい。経済指標では10月3日に公表される9月分のCPIが重要だ。8月分の前年同月比+58.94%から同+61.60%への加速が見込まれており、インフレ抑制に向けた道のりの困難さが改めて意識されることになりそうだ。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

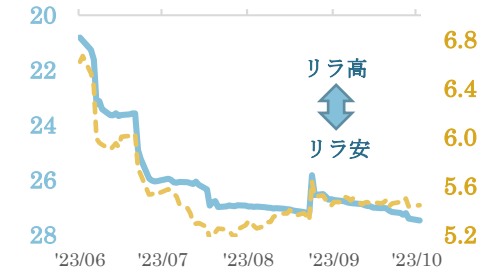
月日	GMT	指標	期間	予想＊	実績	前回
10/3	08:00	CPI(前年比)	9月	61.6%		58.94%

（*予想はブルームバーグ社予想中心値）

トルコ・リラの推移

実線：対ドルレート（左軸、逆目盛）

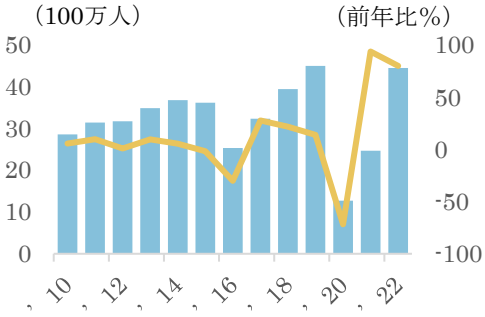
点線：対円レート（右軸）



トルコ　観光客数（年間）

棒グラフ：観光客数（左軸）

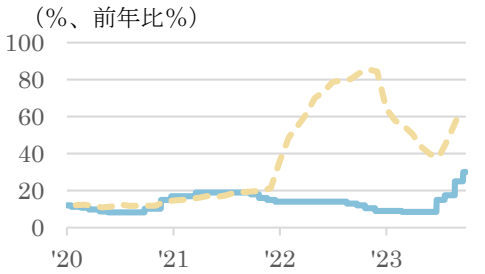
折れ線：前年比（右軸）



政策金利とCPI

実線：1週間物レポレート（主要政策金利）

点線：消費者物価指数（CPI）



（資料：トルコ統計局、ブルームバーグ）

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島　将行

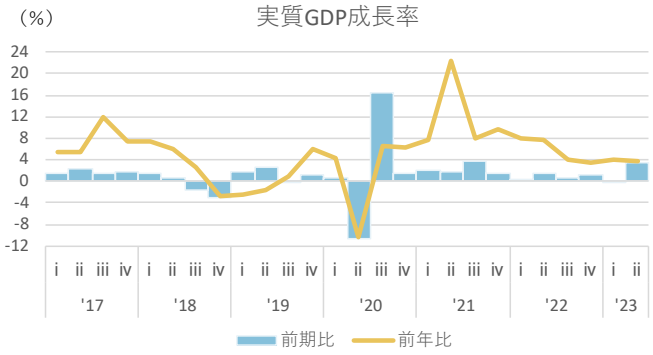
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

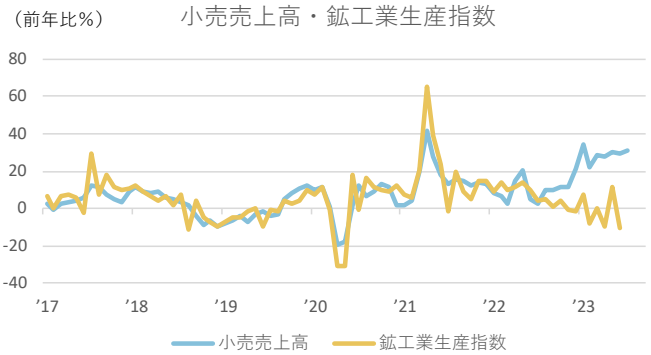
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

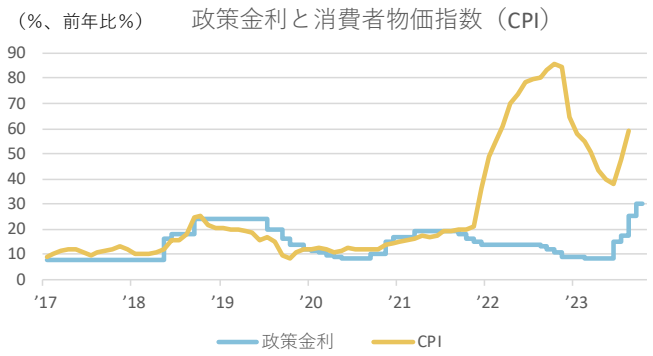
トルコ為替週報

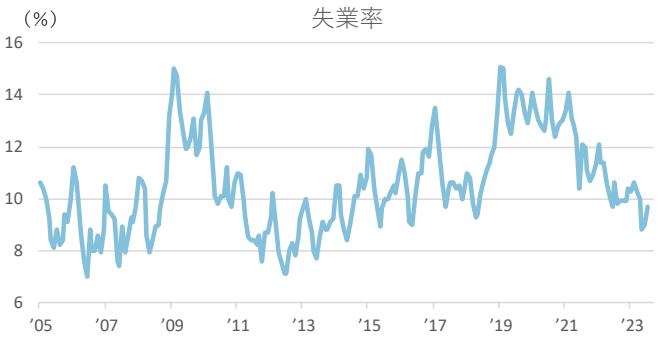
2023 年 10 月 3 日 | みずほ銀行欧州資金部

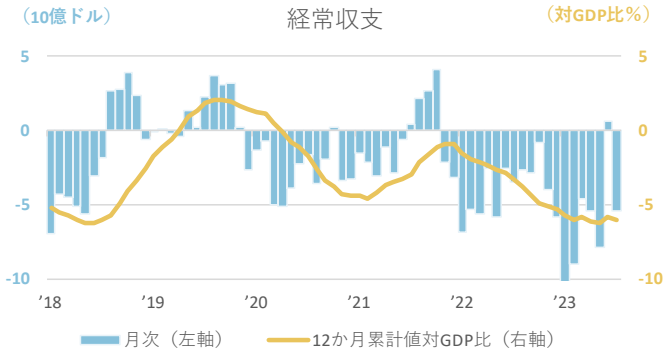
＜主要経済指標の推移＞

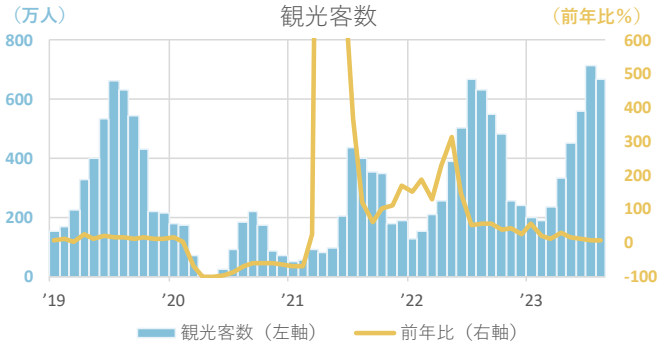


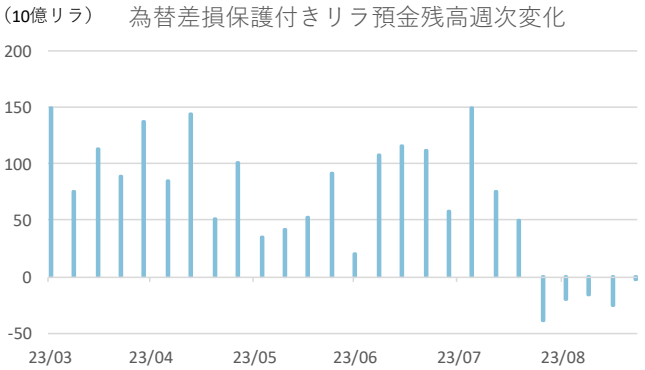


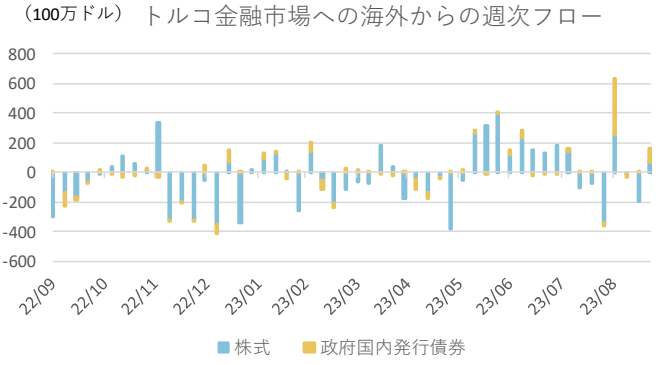












（資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行）

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。